第24回常任理事会

日　時　平成22年3月9日（火）18：00～19：25
場　所　北海道医師会館9階・理事会室
出席者　長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・北野・渡邉・三戸・小山・目黒・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・中村・大口監事
（事務局：島影局長ほか11名）

協議事項

第１号　戦略的大学連携支援事業に関わる外部評価委員の推薦に関する件（深澤常任理事）

藤井常任理事を推薦することに決定。

第２号　道東ドクターヘリ運航調整委員会「事後検証部会」委員の推薦に関する件（深澤常任理事）

目黒常任理事を推薦することに決定。

第３号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邉常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座56件、道医認定生涯教育講座33件、合計89件を承認することと決定。

第４号　北海道医師会職制等の一部改正並びに職員人事異動に関する件（深澤常任理事）

事務局各課における業務量の平均化、課長補佐級中堅職員の管理職登用、関係職員の適正配置などを図り、業務処理の効率化を目的として、本年４月１日から職制等（事務機構）の一部改正と人事異動を行うことと決定。

※主な改正点：課名変更（会員課→事業第五課）、医療関連事業部（事業第二課→事業第五課）、会員の入退会と会費徴収（会員課→総務課）

報告事項

１．ドクターヘリに関する意見交換会［２月17日（水）・旭川市、３月３日（水）・釧路市］について（目黒常任理事）

昨年10月に導入された道北・道東各ドクターヘリ事業について、それぞれの圏域ごとに基地病院、協力病院、管内消防機関、地元医師会等に参集いただき意見交換会を行った。始めに小職より３機となった道内のドクターヘリについて運航状況の概要を説明し、その後、基地病院より当該地域の運航状況について報告がなされ、地域の問題点等についてディスカッションした。

２．北海道自動車保険医療連絡協議会［２月25日（木）］について（目黒常任理事）

損保側委員と、自賠責保険診療の現状・問題点について協議・意見交換した。今年度は「人身傷害補償保険における健保使用」「民間医療機関における新基準の運用状況」「健保使用後の第三者行為求償事務の未実施」等について意見交換を行うとともに、損保側に対し是正すべき事項（医療機関への支払遅延等）を述べ改善要望を行った。

３．マスコミとの懇談会［２月26日（金）］について（山科常任理事）

小職の司会により開会、畑副会長の挨拶の後、参加者の自己紹介を行った。マスコミの出席は、北海道新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社の医療担当記者であった。引き続き懇談に入り、「マスコミが北海道医師会に臨むこと、北海道医師会がマスコミに望むこと」をテーマに意見交換を行った。なお、懇談会終了後、場所を移して懇親会を開催した。

４．北海道病院団体懇談会［３月１日（月）］について（北野常任理事）

道内12の病院団体・35名の出席者により、平成22年診療報酬改定をテーマに懇談会を開催し、種々意見交換を行った。

５．都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会［３月４日（木）］について（藤原常任理事）

「平成22年度診療報酬改定内容」について、日医・藤原常任理事から説明を受けた。その後、安達中医協委員（日医社保診療報酬検討委員会委員長）から、中医協委員の選定経過、今回の改定内容の評価（再診料や外来管理加算の点数算定経緯、外保連試案による手術点数の設定等）について報告がなされた。

６．国立がんセンターがん対策情報センター「がん検診受診率向上指導事業」第５回がん検診受診向上アドバイザリーパネル委員会［３月５日（金）］について（畑副会長）

本委員会で検討してきた「かかりつけ医のためのがん検診ハンドブック～受診率向上をめざして～」の小冊子が今月末に出来上がり、日医会員には４月中に配布される。また、このハンドブックを使い研修会を年度内に各県で３回ほど開催の予定。

７．外部各委員会報告

⑴　北海道精神科救急医療体制連絡調整委員会［３月２日（火）］について（北野常任理事）

道内の精神科救急医療体制整備事業の現状について事務局より説明があり、その後、８ブロックから事業実施状況の報告がなされ、意見交換を行った。

⑵　第２回北海道自殺対策連絡会議［３月４日（木）］について（三戸常任理事）

国および北海道における自殺対策にかかわる経緯や、「いのちを守る自殺対策緊急プラン」等について説明され、その後、各構成機関の自殺対策の取組みについて、諸団体等から報告があった。

８．各部報告

⑴　新型インフルエンザ（A/H1N1）に関するアンケート調査［第２回］結果について

（三戸常任理事）

現在、新型インフルエンザの患者数はピークを超え減少傾向にある。当会では、今までの対応等について検証し、今後予想される鳥インフルエンザを含めた感染症危機管理体制の充実を図るため、このたび各郡市・医育機関医師会に対しアンケート調査を実施した。この結果を来る定時代議員会で報告することにしている。

⑵　第４回医療政策部担当理事会［2月23日（火）］について（直江常任理事）

第133回定時代議員会議案「当面の医療政策」について、提案事項、担当者などにつき検討した。

９．その他

⑴　社保対処費検討委員会報告について

（深澤常任理事）

三度の委員会を経て検討し取りまとめられ提出された「平成21年度社保対処費検討委員会報告」について、郡市・医育機関医師会長等に送付した。来る３月14日の定時代議員会にて委員長より報告を行う。

⑵　長妻厚生労働大臣の所信表明について

（直江常任理事）

長妻厚労相から、衆議院厚生労働委員会で行った自身の所信表明について、日医へ意見が求められたことに対し、日医から「グランドデザインを参考に日医の政策・提言を検討すること。財務省と対峙すること」を回答したとの通知、記者会見があったことを報告し、表明内容について説明した。

第26回常任理事会

日　時　平成22年3月23日（火）18：30～20：20

場　所　北海道医師会館9階・理事会室

出席者　長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、榊山・北野・渡邉・三戸・小山・藤井・藤原・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科各常任理事、水元・大口各監事

（事務局：島影局長ほか11名）

協議事項

第１号　第133回北海道医師会定時代議員会の処理事項に関する件（深澤常任理事）

３月14日開催の定時代議員会で採択された決議文を日医会長、都府県医師会長、郡市医師会長、国会・道議会議員、政党、関係省庁、マスコミ等672件に送付することと決定。

第２号　母体保護法指定医師の指定に関する件

（深澤常任理事）

３月19日の審査委員会で指定「可」とされた新規２名、再審２名の申請者を指定医師とすることに決定。また施設名変更３件の申請を承認することと決定。

第３号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（渡邉常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座32件、道医認定生涯教育講座27件、合計59件を承認することと決定。

第４号　その他

○４月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．女性医師支援センター事業ブロック別会議［２月28日（日）］について（藤井常任理事）

日医女性医師支援センター事業の概要を説明後、女性医師支援に関する取り組み等について各医師会より報告があり、意見交換が行われた。

２．緊急臨時的医師派遣事業第14回運営委員会［３月10日（水）］について（深澤常任理事）

延長申請38件と新たに派遣申請のあった13医療機関の状況について条件を精査の上、派遣を決定した。また、新たな派遣元として５医療機関が登録された。

３．日医感染症危機管理対策協議会［３月11日（木）］について（三戸常任理事）

唐澤会長の挨拶の後、新型インフルエンザＡ（H1N1）対策について、厚労省健康局結核感染症課・新型インフルエンザ対策推進室長の正林督章氏から流行情報等を含め報告があった。また、仙台市医師会、豊橋市医師会、沖縄県医師会より各地域の取り組みが発表された、その後、各医師会からの質問・要望等につき協議が行われた。

４．北海道厚生局・北海道保健福祉部医療政策薬務課との打ち合わせ［３月12日（金）］について

（藤原常任理事）

平成21年度における「社会保険医療担当者に対する指導実施結果」について、北海道厚生局より報告があった後、22年度の指導実施計画について協議した。前年度との変更点は、⑴「一般個別指導」において、対象医療機関を国立・公立・公的病院としていたが、 北社協、済生会、厚生連等を加えたこと。⑵「集団的個別指導」を理由なく欠席した場合には、翌年度、「個別指導」を実施していたが、21年度の欠席者には、22年度に再受講の機会を設け、それでもなお欠席した場合には、 23年度に個別指導を実施

することとした。⑶新規医療機関を対象とした個別指導は、集団的個別指導の日程に合わせて、圏域ごとに実施する。他の指導方法に変更はなく、22年度の指導計画をおおむね了承したが、「一般個別指導」の 医療機関選定については、細部をさらに詰めることとした。

５．在宅緩和ケアに関する従事者研修事業［３月13日（土）］について（渡邉常任理事）

並木昭義札幌医大名誉教授が中心となり「在宅緩和ケアにおける課題－看取り－」をメインテーマに開催した。出席者は81名。はじめに兵庫県医師会所属・関本クリニック院長関本雅子氏より「在宅緩和ケアのABC」について講演が行われた。続いて、前野宏ホームケアクリニック札幌院長が座長となり、「在宅での看取りを進めるために」をテーマにシンポジウムが行われ、各シンポジストより「在宅医の立場から」「訪問看護師の立場から」「訪問薬剤師の立場から」「家族の立場から」各々発表があり、その後総合討論が行われた。

６．第１回「ほっかいどう健康塾」［３月22日（月・振替休日）］について（藤井常任理事）

当会と読売新聞北海道支社等との共催により札幌市内で開催した。宮本副会長ほか２名の主催者挨拶の後、「糖尿病」をテーマに、「診断と治療～最近の知見と新しい治療」と題して市立札幌病院糖尿病内分泌内科部長の柳澤克之氏から、「メタボリックシンドロームと糖尿病～食事・運動をどうしたらよいか～」と題して旭川医科大学病院外来ナースステーション副看護師長・糖尿病看護認定看護師の法月章子氏からそれぞれ講演された。その後、質疑応答が行われた。参加者は約400名であった。

７．日医理事会報告（長瀬会長）

各委員会の答申や、本医学会の役員選挙・分科会への新規加盟等について報告があった。

８．日医各委員会報告

⑴　男女共同参画委員会［３月10日（水）］について（藤井常任理事）

日医女性医師バンクの登録状況等の実績報告があり、その後、答申書の最終確認を行った。

９．外部各委員会報告

⑴　北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会正副会長・幹事合同会議［３月17日（水）］について（前川常任理事）

平成21年度事業実施状況および会計収支報告、機能強化委員会活動状況について報告があり、続いて22年度事業計画（案）および収支予算（案）、21年度第２回代議員会総会の持ち方について各々協議が行われた。

また、全国地域包括・在宅介護支援センター協議会への役員推薦については、引き続き長瀬会長を推薦することを決定。その後、「老老介護の実態調査」について自由討論を行った。

⑵　北海道感染症危機管理対策協議会［３月19日（金）］について（三戸常任理事）

小職より平成21年度麻しん対策専門委員会の概要について報告した。また、各委員や道の担当者から平成21年度感染症流行調査専門委員会（平成22年度における日本脳炎予防接種のあり方について）、二類～五類感染症および性感染症の発生状況、インフルエンザ対策等についてそれぞれ報告があり、この後、質疑が行われた。

10．中央情勢報告（直江常任理事）

“統合医療”について、２月５日に開催された厚労省の「統合医療プロジェクトチーム」第１回会合の内容・資料を中心に、経緯、民主党の姿勢、日医の異議等について解説した。

11．各部報告

⑴　平成22年度特定健診集合契約について（三戸常任理事）

平成22年３月12日現在、特定健診集合契約の参加健診機関数は1,607件、その内、道医への電子化代行依頼件数は559件である。

道総医協関連事項（三宅副会長）

１．第５回地域医療専門委員会［３月16日（火）］について（宮本副会長）

「地域医療再生計画」の各事業の詳細について検討し、今後の進め方について確認した。

２．地域医療専門委員会周産期医療小委員会［３月17日（水）］について（宮本副会長）

委員長に水上委員、副委員長に服部委員が選出された。その後、帯広厚生病院の総合周産期母子医療センターの指定について協議が行われ、承認された。また、国からの周産期医療体制整備指針に基づく「北海道周産期医療体制整備計画（仮称）」の策定について説明があり、意見交換が行われた。